



# 農地利用の最適化に向け 積極的に情報発信します！

会長 間宮良一

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。さて、昨年七月の農業委員の改選にて委員に任命され、総会における互選の後、会長の重責を担うことになりました。これまでの農業委員の経験を活かし、微力ながらも全身全霊でこの職務に取り組み所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

また、この度の農業委員会法の改正により、新たに農地利用最適化推進委員の十名が加わり、農業委員と合わせて二十四名体制になって新生農業委員会が発足いたしました。本町農業者の負託に応えんと共にさまざまな課題に対処して参ります。

さて、昨年は五月下旬のスイカ等の雹害に加え、水稲においては、八月下旬以降の低温や日照不足、十月は登熟が進まなかったこと等、当町の農作物全般において満足できる出来秋を迎えることができなかったことは誠に残念に思うところであります。

農業を取り巻く情勢も日々変化しており、30年度から実施される「米政策の見直し」による米の直接支払交付金の廃止により、これまで農家の協力で成り立ってきた米の生産需給調整体制が維持できるのか否かが不安視され、農家の間に広がる動揺が要因となって米の安定供給に支障をきたすことも大いに懸念されます。

この状況下で農業者は経営基盤の拡充及び安定対策を図りながら、所得確保を積極的に推し進めることに加え、町行政や農協等の関係団体との連携を強化することでこの難局を乗り越えなければなりません。

農業委員会は体質強化に努めながら、農地利用最適化の推進に向け積極的に情報発信をして参りますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## シリーズ 《がんばっています》

# 農業・生活とビジネス

下宿 木村玄輝

五年前までの私の中の農業のイメージは、「農家に生まれ育った友人の仕事」というだけでした。外から時々目にするだけだった農業が、結婚し妻の両親と共に従事し生活をするとという生業(なりわい)に変わったとき、私の感じた感情はただ「楽しい」でした。

も楽しいものだったんだなと思います。当然、戸惑いもありました。農業以外のジャンルの仕事は細かい延長はあれど家庭と仕事は別にできる、そう思うのですが、農業はそれができない。水稲、西瓜ともに天候によっては24時間常に仕事モードでいなくては行けない。営農当初の私はこれがなかなかうまく出来ず大変でしたが、父、母と一緒にいろんな話をしながら楽しく、そして「いつか親父を超える農家になる」そんな気持ちで自覚し始めていきました。今後まだまだ感じたこともない困難に直面すると思いますが、夢や目標を見失わずに一つ一つ乗り越えていこうと思っています。



稲刈作業

いま夢と書きましたが、私の夢は今後増えていくであろう経営農地を健全に、安定し



稲摺作業

て管理運営していく農業形態を確立することです。後継者不足が加速する農業で、私は大規模な農地を少ない農家で管理、運営する時代が正に目の前にせまっていると感じます。

企業化が必要になる日もくるでしょう。その時にはもつとビジネスとしての観点からも農業を見直す必要があると思います。

健全な予算運用、作付面積に対する生産量、生産物の品質の向上等、今以上に突き詰めていこうと思います。熱意に対して技術はまだまだ未熟ですが、その差を少しずつ埋めていき、夢を叶えようと思っています。

## 農業委員・農地利用最適化推進委員紹介

(農)…農業委員 (推)…農地利用最適化推進委員

<b>亀井田①</b> 村岡 藤 弥(農) (鷹巣1・3) 星川 松 雄(農) (駒籠) 斎藤 松 吉(農) (岩ヶ袋・海谷)			<b>大石田</b> 菅原 直 志(農) (今宿～二丁目) 間宮 良 一(農) (本町～桂木町)		
海藤 雅 彦(推) (駒籠) 工藤 秀 春(推) (海谷) 今野 悦 子(農) (鷹巣2)			羽賀 茂(推) (新町～八幡町) 齊藤 誠(農) (仲通～井出) 遠藤 史 夫(農) (東町～栄町)		
<b>亀井田②</b> 土屋 隆 志(農) (豊田・川前) 青木 忠 弘(農) (大浦・白鷺・次年子)			<b>横山・田沢</b> 伊藤 芳 夫(農) (田沢・新山寺) 高橋 敏 明(農) (小菅) 飛渡 孝(農) (来迎寺・里・黒滝) 高橋 正 子(農) (横山本郷)		
海藤 義 則(推) (次年子) 佐々木 義一(推) (白鷺) 芳賀 富 弥(推) (豊田)			高梨 芳 一(推) (新山寺) 斎藤 新 一(推) (里) 奥山 政 雄(推) (横山本郷) 木村 和 夫(推) (横山本郷・黒滝)		

### ◆新規就農者への支援 (H29山形県及び関係団体の新規就農支援策)

#### 就農準備

- 技術・経営力の習得
  - ・新規就農支援研修、働きながら学ぶ農業入門講座【農林大学校】
  - ・独立就農者育成研修…実践研修で技術や経営ノウハウを学ぶ【やまがた農業支援センター】
- 就農前の研修を後押しする資金
  - ・農業次世代人材投資資金(準備型)…就農予定時45歳未満の方に年間150万円(最長2年)を交付【県】《旧青年就農給付金》
- 農業法人等での研修に対する支援
  - ・農の雇用事業、雇用就農促進事業…研修生1人あたり年間最大120万円(最長2年)を農業法人等に交付【農業会議】

#### 就農初期

- 技術・経営力の習得
  - ・農業経営実践講座【農業技術普及課】、農業経営力養成基礎講座【農林大学校】他
- 就農直後の経営確立を支援する資金等
  - ・農業次世代人材投資資金(経営開始型)…就農時45歳未満の独立・自営就農者に年間最大150万円(最長5年)を交付【市町村】《旧青年就農給付金》
  - ・新規就農定着サポート事業…就農時45歳以上の認定新規就農者に年間最大36万円(最長5年)を助成及び定着支援アドバイザー設置費用を助成【やまがた農業支援センター】
- 機械・施設導入等の支援
  - ・青年等就農資金(無利子融資)【金融機関、市町村、県】
  - ・経営体育成支援事業(補助事業)【市町村、県】